

平成27年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【留学生特別入試】
・平成28年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策、 地域公共政策コース
専門科目	憲法

次の2つの問題のうちいずれか1問を選択し解答しなさい。

問題1 以下の各訴えについて、裁判所は司法権を行使することができるか論じなさい。

- 1 国会で今制定されようとしているA法律は明らかに違憲であるとして、成立前に無効を宣言するよう求める訴え。
- 2 B宗教の教義は明らかに憲法第13条の個人の尊厳に反しているとして、その違憲確認を求めてC宗教の信徒らが提起した訴え。
- 3 自衛隊は憲法第9条に違反する無効な存在であるとして、国に対して、自己の納税分中自衛隊に支出した額の返還を請求する訴え。

問題2 以下の問いに答えなさい。

私人Xは、Yが公務員時代に汚職を行ったとの見解を公表した。Yはこれによって名誉が毀損されたとして民事訴訟を提起した。この訴えに対し、裁判所はYの言い分を認め、Xが先に表明した見解は「真相に相違しており、貴下の名誉を傷つけご迷惑をおかけしました。ここに陳謝の意を表します」との謝罪広告を、Xがこの見解について確信を持っているにも関わらず、その意に反し、Xに新聞紙上に掲載するよう命じた。

この謝罪広告の強制は、憲法上のなんらかの人権を制限するであろうか。制限するとしたら、この謝罪広告の強制は憲法に反し違法であるかについて論じなさい。

以上